

短期海外研修（語学研修・海外実習・インターンシップ・その他プログラム）

2026年度 実施内容（予定）

2026年4月10日 ver.

No.	カテゴリー	プログラム名 (研修先機関名)	派遣先国・地域 (都市)	使用言語	プログラム内容	実施時期 (期間)	参加対象	募集人数	説明会 実施時期	募集時期	付与単位 数	科目名(科目番号) ※単位付与がある場合	多文化共 修認定の 有無	学生負担の費用	支援金の種類(金 額)	開催頻度	問い合わせ先 (メールアドレス)	URL	備考
1	語学研修	2026年度カナダプリンス・エドワード島大学夏季英語研修	カナダ(プリンス・エドワード島大学)	英語	異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラム。	2026年8月2日～8月23日(渡航期間3週間)	全学生(大学院生を含む)	35名	2026/2/6-7	2026/2/8～2026/3/13	3単位	比較文化国際研修Ⅱ	無	約65万円(航空券代、宿泊費等含む)	はばたけ筑大生 申請中	毎年開催	比較文化学類事務室 hibun-office@un.tsukuba.ac.jp		
2	語学研修	海外先進大学スポーツマネジメント研修	アメリカ合衆国(カリフォルニア)	英語	UCLAでの講義やスポーツ施設見学、ホームゲーム観戦を行う。	2027年3月上旬(約1週間を予定)	全学生(大学院生を含む)	30名程度	7月、11月頃	11月頃	1単位	海外先進大学スポーツマネジメント研修(8310005)	無	約70万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(計20万円)	毎年開催	体育スポーツ局 (bpes_admin@un.tsukuba.ac.jp)		自由科目「スポーツが変われば、大学が変わる」の実習授業として開講するため、同授業の履修が必須
3	語学研修	2026年度 筑波大学医学群看護学類 アメリカ国際看護研修	アメリカ合衆国(シカゴ市)	英語	イリノイ大学シカゴ校により提供されるUTC Summer Undergrad Program 2026(2026/7/6-7/24)に参加し、他協定校(韓国、スペインなど)の参加者と共に、国際保健と臨床看護について学ぶ。米国の看護教育と医療制度、受刑者の健康問題、地域保健、性的マイノリティの健康問題、医療安全、病院でのシャドウイング実習、ディスカッション等を含む計98時間。	2026年7月6日～7月24日(現地滞在期間)	看護学類	2名	2025年12月18日(メール案内)	2025年12月18日～2026年1月8日	2単位	国際ヘルスケア学術協定校研修(HC19007)あるいは応用看護学実習(HC40023)	有(申請中又は申請予定)	約100万円(研修参加費、航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生!(計20万円)	毎年開催	医学医療系・柴山大賀・教授・taiga@md.tsukuba.ac.jp		
4	語学研修	Short-term Medical Science Training Program in Vietnam 2026	ベトナム(ホーチミン市)	英語	派遣学生は現地研究室での研究体験を通して日本では実感できない現地の医学関連の課題、医療事情および特有の取り組み等を学修し討論する。また現地の学生とともに病院やバイオテクノロジーセンター等を訪問し、医療設備や実際に行われている医療技術等を見学する。さらに、本学主催の「感染症診断ワークショップ」にも参加する。このような活動を通して自らのキャリア計画に有意義な経験の機会を与える。	2026年9月(1カ月程度)	医療科学類	2名	R8.6.1	2026年4月～5月	3単位	国際生命科学学研修 HE41170 国際パートナーシップ研修(東南アジア) 8290107	無	計約40万円(航空券代、宿泊費、食費等含む)	JASSO(計36万円) はばたけ(計4万円)	毎年開催	福田綾・准教授 fukudaa@md.tsukuba.ac.jp		
5	インターンシップ	On the Job Practice (International)	海外(学生により派遣国は異なる)	英語 他	現地/国際NGO、機関等やJICA等のインターン/ボランティア・スタップとして、16週間(1日7時間)程度の活動に従事する中で課題の本質を学ぶ。	2026年4月～10月 ※受入先と個別に調整(16週間)	スポーツ国際開発学共同専攻の学生	-	なし	実習先による	6単位	On the Job Practice (International) (0AVA602)	無	自己負担	専攻で許可された者には、旅費の一部を支援(上限:3万円)	毎年開催	体育芸術エリア支援室大学院教務(jdp-tsukuba-kanoya@un.tsukuba.ac.jp)		専攻必修科目
6	インターンシップ	シカゴ大学コンピュータサイエンス学部サマープログラム Computer Science Student Summer Research Fellowship Program	アメリカ合衆国(シカゴ)	英語	シカゴ大学コンピュータサイエンス学部の研究室において、シカゴ大学教員の指導を受けて研究活動を行う。	2026年7月上旬～8月下旬の8週間	情報学学位プログラム博士前期課程、情報理工学位プログラム博士前期課程	1～2名	なし	1月～2月頃	1単位	国際研究プロジェクト(0A00302)	無	約50万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(15万円)ほか	毎年開催	図書館情報エリア支援室 学生支援、エリア・コモンズ(tosyoss-gakusei@un.tsukuba.ac.jp、tojo-areacommons@un.tsukuba.ac.jp)	https://cs.uchicago.edu/academics/undergraduate/summer-research/student-fellowship-program/	2026年の募集(2027年度派遣)については実施検討中
7	インターンシップ	国際インターンシップ	ドイツ(ポーフム)、韓国(プサン)	英語	海外における図書館・情報センターにおいて、情報の収集、処理、提供に関する業務の実際を理解する。日本の図書館・情報業務と同じ点、異なる点を体験し、相対的な視野を養う。職員や利用者との交流を通して、外国の文化、慣習、考え方を学ぶ。	2026年8月、9月(10日間程度)	知識情報・図書館学類生(3-4年生)	4名程度	前年1月	前年1月	2単位	国際インターンシップ(GE40703)	無	派遣先による(宿泊費、食費、その他)	航空券代+3万円支援	毎年開催	図書館情報エリア支援室学群教務(gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp)	なし	なし
8	海外実習	(シナルマス財団、ペランタラ財団、APP(Asia Pulp & Paper))	インドネシア(ボゴール、ジャカルタ、ペカンバル、バンドン)	英語	国際農業研修Ⅶ	2026年7月～8月	全学生(大学院生を含まない)	25名程度	2026年6月	未定	2単位	国際農業研修Ⅶ(EC41173)	有	約30万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(13万円)(予定)	毎年開催	野村 名可男 准教授 nomura.nakao.fa@u.tsukuba.ac.jp		2023年、2024年実施実績あり 本研修に参加学生のうち3名東南アジアへの学期単位の長期交換留学へ参加
9	海外実習	(ホルドー大学・国立研究開発法人農業・食品・環境研究所)	フランス(ホルドー)	英語	国際農業研修Ⅲ	2026年7月中旬	全学生(大学院生を含まない)	20名程度	2026年6月	未定	2単位	国際農業研修Ⅲ(EC41133)	有	約50万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(20万円)(予定)	毎年開催	野村 名可男 准教授 nomura.nakao.fa@u.tsukuba.ac.jp		2010年より開催
10	海外実習	共通の課題解決のための日韓大学生多文化共修セミナー(梨花女子大学校)	韓国(ソウル)	英語・韓国語	日韓両国の大学生が関心のある課題ごとに分かれ、多様な視点から交流する機会を通じ、両国に横たわる様々な「溝」や共通の課題を「対話」で共有し、それらを少しずつ埋めていくことで、相互理解を深めていく。	2026年7月末(8日間)	全学(教育学類生・人間学群学生・教職履修者を優先)	5名	4月中	4月末	1単位	多文化共修による課題解決実習(海外)	有	約15万円(旅行保険料・航空券代、宿泊費・食費など)	JASSO(計11万円)または、はばたけ筑大生!(計5万円)	不定期で実施	人間系・金 瑛辰 (kim.hyunjn.gt@u.tsukuba.ac.jp)		
11	海外実習	In-between Studies	インドネシア(ジョグジャカルタ)	英語 インドネシア語	分断やヘイトが高まる現代の国際社会において、他者を見知らぬ存在としてではなく、身近な隣人に感じられる場や想像力が一層必要となる。このプロジェクトのテーマである「In-between Studies(あわいの学び)」は、他者の文化と自国の文化との間に「あわい」に立ちながら、言語を越えたコミュニケーションを共に生み出すアートの可能性を模索していく。	2026年8月16日～8月31日	全学群、学類学生、全学位プログラムの学生	5名	R8.7.8	4月	-	8331173 多文化共修による課題解決実習(海外)A 0A00323 多文化共修による課題解決実習(海外)	有	支援金額を超えた費用	はばたけ!筑大生奨学金	毎年開催	芸術系事務室 デザイン学学位プログラム (art_design_adm@un.tsukuba.ac.jp)		
12	海外実習	ジョージアの文化に触れて地方法活性化を考える	ジョージア、トビリジなど	英語、日本語、ロシア語、ジョージア語	日本とジョージアでは、地方の過疎化と都市部への人口集中が共通の社会課題として存在する。本活動では、ジョージアの言語や社会、文化をフィールドワークを通して学びつつ、日本人としての視点から課題解決への方策を、本学リエゾン・オフィス設置予定のイリア国立大の学生とともに、ワークショップ形式で実践的に検討する。	2026年9月2日～9月10日(渡航期間約8日間)	筑波大学 日本人学生10名 他大学 外国人学生10名	20名	6-7月頃	6月1日～7月31日	1単位	正課申請予定	有	約30万円(航空券代、宿泊費、滞在費)	はばたけ筑大生 申請予定	毎年開催	比較文化学類事務室 hibun-office@un.tsukuba.ac.jp		
13	海外実習	インドネシア・ジョグジャカルタにおけるガジャマダ大学との多文化共修	インドネシア(ジョグジャカルタ)	英語	宗教・民族・文化の違いを前提とした多文化共生について、UGMの日本語学科および宗教・多文化研究センターの教員・学生と議論し、グループでテーマを設定する。その上で、宗教施設への訪問、同国2大宗教団体を訪問する。各グループでテーマに対する解決案を考えて発表する。	2027年1月20日～2月19日(渡航期間約9日間)	筑波大学 日本人学生5名 他大学 外国人学生5名	10名	未定	11月から12月	未定	比較文化国際演習I	有	約30万円(航空券代、宿泊費等含む)	はばたけ筑大生!、およびASSO申請予定	不定期で実施	比較文化学類事務室 hibun-office@un.tsukuba.ac.jp		
14	海外実習	(乾燥地域の協定校及び企業等)	チュニジアなど	英語	国際農業研修Ⅴ	2027年1月中旬	全学生(大学院生を含まない)	10名程度	2026年12月	未定	3単位	国際農業研修Ⅴ(EC41153)	有	約50万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(13万円)(予定)	その他(備考に記載)	川田 清和 助教 kawada.kiyokazu.gu@u.tsukuba.ac.jp		隔年開催
15	海外実習	(アジア地域の協定校及び企業等)	アジア地域	英語	国際農業研修Ⅰ	2027年1月下旬～2月下旬	全学生(大学院生を含まない)	12名程度	2026年12月	未定	2単位	国際農業研修Ⅰ(EC41013)	有	約50万円(航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生(13万円)(予定)	毎年開催	野村 名可男 准教授 nomura.nakao.fa@u.tsukuba.ac.jp		2020年より開催

16	海外実習	(機関名: 亜蔬ー世界野菜センター、台湾農省農業試験所、他10ヶ所)	台湾 (台南)	英語	国際農業研修VI 台湾の亜熱帯・熱帯農業におけるクワイメート・スマート・アグリカルチャーの研修	2027年2月下旬～3月上旬	全学生 (大学院生を含まない)	15名程度	2027年1月	未定	2単位	国際農業研修VI(EC41163)	有	約25万円 (航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生 (13万円)(予定)	毎年開催	阿部 淳一(ピーター) 助教 abe.junichi.p.gn@u.tsukuba.ac.jp	2023年度に国立中興大学と筑波大学(生命環境学群と理工情報生命学術院)の学術交流の部局間協定書を締結「国際農業研修 VI」(EC41163)を開設
17	海外実習	ベトナム・フエの水郷集落における洪水共生デザイン研修 (フエ科学大学)	ベトナム (フエ)	英語	エコスタディツアー体験 ラグーン地域の水郷集落のフィールドトリップ ベトナム人学生と混成チームを作りデザイン・ワークショップ 集落コミュニティへの発表	2026年9月13日～9月30日 (予定)	全学生 (大学院生を含む)	5名	2026年4月16日(木)18:15-20:30@体育・芸術エリア6A棟308室	2026年4月16日(木)18:15-20:30@体育・芸術エリア6A棟308室	3単位	アート・デザインプロデュース演習1, 2, 3 (YBX4812, YBX4822, YBX4832) 大学を開くデザインプロデュースA, B, C (0AS0303, 0AS0304, 0AS0305) 芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習1, 2, 3) (4012042, 4012052, 4012092)	有	航空券代 約10万円 宿泊費等 約3万円 その他 合計15万円程度	JASSO (計8万円) ※成績評価係数2.30相当以上、TOEIC550点以上の条件に該当する学生に限る	毎年開催	芸術系助教 菅野圭祐 sugano.keisuke.gu@u.tsukuba.ac.jp	
18	海外実習	海外研修I	インドネシア共和国 バブア州	日本語、英語	多国籍企業による熱帯林開発が拡大するインドネシア・バブア州で、現地企業カオキタ社は熱帯林と先住民の生活を守るために、先住民の協同組合が有機生産するカオを日本の生活協同組合に輸出するフェアトレード事業を営んでいる。本研修はこのフェアトレード事業を学び、事業の維持・発展に向けた方策を、筑波大学の学生とチンドラフシ大学の学生がカオキタ社と協同組合との議論を踏まえて提案する。	2026年9月1日～9月11日 (11日間)	国際総合学類の学生のみ	12名	4月後半	4月後半から5月中旬まで	2単位	BC15210	有	29万円 (航空券代、宿泊費、食費、その他)	はばたけ筑大生!申請予定	毎年開催	人文社会学系 寺内大左 terauchi.daisuke.gt@u.tsukuba.ac.jp	https://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/curriculum/kenyuu.html
19	海外実習	海外医療視察研修	カザフスタン	英語その他派遣国の言語	カザフスタンの医科大学や医療機関、研究機関等を訪問し、訪問先の言語・文化・社会・医療制度への理解を深め、将来のキャリア形成に役立てる。	2027年3月頃 (12日間)	医学類、看護学類、医療科学類	6-8名	未定	11月頃	1単位	海外プロジェクト概論 (ロシア語圏) 国際生命医学科学研修	有 (申請中又は申請予定)	約28万円 (航空券代、研修費、宿泊費等含む)	はばたけ筑大生! (13万円)	毎年開催	医学学群教務 (igaku-kyoumu@un.tsukuba.ac.jp)	https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/
20	海外実習	韓国/清州・ソウル特別市: 韓国教員大学ほか	韓国 (清州・ソウル特別市)	英語	日韓の歴史・文化に関する共通理解から教育改革戦略を探究する	2026年11月16日～12月18日	教育学類・教育学学位プログラムの在籍する日本人学生	16名	未定	未定	1単位	多文化共修による課題解決実習 (海外) : 0A00323	有 (申請中又は申請予定)	後日連絡	はばたけ筑大生!	毎年開催	人間系 朝倉雅史 (asakura.masashi.gb@u.tsukuba.ac.jp)	
21	海外実習	国際教育協力実習	タイ (コンケン)	タイ語、英語、日本語	国際協力を目指したタイ学校での日本語指導	2026年8月31日～9月13日	2・3年次、教育学類生・人間学群学生を優先	10名以内	国際教育協力論 (春AB水5,6)の初日	4月末	2単位	国際教育協力実習 (CB11103)	有	約20万円 (旅行保険料・航空券代、宿泊費・食費など)	はばたけ筑大生! (計10万円)	毎年開催	人間系 太田知彰 (ota.kazusa.gb@u.tsukuba.ac.jp)	
22	海外実習	韓国実習	韓国 (ソウルほか)	韓国語・日本語	ソウルや釜山などの教育機関等で、現地の学生と社会問題等についてディスカッションを行う	2026年10月 (8日間)	主に日本語・日本文化学類の学生 (他学類の学生も参加可)	5名	4月下旬	5月	3単位	日本語・日本文化国際研修III (AE14E33)	無	約15万円	はばたけ筑大生! (計6万円)	毎年開催	日本語・日本文化学類長室 nichi2_office@un.tsukuba.ac.jp	https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/training_overseas/
23	海外実習	スロベニア実習	スロベニア (リュブリャナ)	英語・日本語	リュブリャーナ大学が提供する異文化理解プログラムに参加する	2027年3月 (21日間)	主に日本語・日本文化学類の学生 (他学類の学生も参加可)	5名	10月中旬	10月	3単位	日本語・日本文化国際研修II (AE14E23)	無	約40万円	はばたけ筑大生! (計20万円)	毎年開催	日本語・日本文化学類長室 nichi2_office@un.tsukuba.ac.jp	https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/training_overseas/
24	海外実習	日本・スロベニア学生異文化理解短期研修プログラム	スロベニア共和国 (リュブリャーナ市)	日本語・英語	リュブリャーナ大学での研修プログラムに参加し、日本に関するテーマでプレゼンテーションを行い、学術交流を図る。また、スロベニア語を学びながら、現地の学生と協働で文化施設や教育機関の訪問や日本語教育の現場体験を行う。	2027年3月上旬～(3週間)	人文・文化学群生 社会・国際学群生 人間学群生	5名	R8.10.中旬	R8.10.下旬	3単位	日本語・日本文化国際研修II (AE14E23)	無	約50万円 (航空券代、宿泊費、生活費等)	成績基準を満たす場合に「はばたけ!筑大生」支援金(200,000円)あり	毎年開催	人文社会学系 准教授 澤田浩子 (sawada.hiroko.gb@u.tsukuba.ac.jp)	
25	海外実習	アジア救急医学集中講座	タイ (コンケン)	英語	コンケン大学において毎年2月ないし2-3月に世界中から救急医学に高い関心を持つ医学者が集まって行われる救急医学に特化した教育研修ならびに技能・知識を競うオンラインワークショップへの参加。本学医学類生にとって、アジア各国の医学生との競合的環境の中で救急医学に関する実践的知識・技能を整理あるいは習得する有意義な機会である。日タイの連携強化を図る国際的人材交流という視点も有り、医学生の国際感覚を養う機会でもある。	2027年2月頃 (7日間)	医学類	6-8名	11月頃	10月頃	1単位	アジア救急医学集中講座	無	約25万円 (航空券代、研修費、宿泊費等含む)	はばたけ筑大生! (13万円)	毎年開催	医学学群教務 (igaku-kyoumu@un.tsukuba.ac.jp)	https://kkuicem.com/
26	海外実習	art/designをつづじた日常生活遺産の活性化	台湾 (台湾)	英語	日常生活遺産を生活行為、記憶と人工物、自然の結びつきとして捉えながら、日常生活遺産のある文化的景観に着目し、景観を構成する具体的形態、質感、色彩に焦点を当て、フィールドワークをつづじてそれらの魅力と成り立ちを読み解きます。さらに、フィールドワークで得られた知見を踏まえてワークショップをおこない、日常生活遺産と文化的景観に活力を与える作品制作や展覧会をおこないます。	2026年8月9日～8月16日	アートとデザインに関わる活動をおこなう学生	8名程度	4月末～5月初旬	4月末～5月初旬	1単位	YBX4822 アート・デザインプロデュース演習2 4012052 大学を開くアート・デザインプロデュース演習2	有 (申請中又は申請予定)	支援金額を越えた費用 (はばたけDOJO支援、JASSO奨学金)	はばたけDOJO (5万円見込) あるいはJASSOソーシャルインパクト (9万円見込)	毎年開催	芸術系事務室 デザイン学学位プログラム (art_design_adm@un.tsukuba.ac.jp)	募集人数を超過した場合選抜をおこなうことがあります。アート・デザインプロデュース演習1, 3, 大学を開くアート・デザインプロデュース演習1を合わせて履修することが望ましい。
27	海外実習	中華人民共和国: 東北師範大学	中国 (長春市)	英語、日本語、中国語	教育学系大学院生による教育課題解決のための共修活動	2026年9月頃 (約2週間)	教育学学位プログラムに在籍する日本人学生	10名	未定	未定	1単位	海外教育調査実習 : 0ATAY41	有 (申請中又は申請予定)	後日連絡	はばたけ筑大生!	不定期で実施	人間系 唐木清志 (karaki@human.tsukuba.ac.jp)	
28	海外実習	ENSAG/UGA-UT Joint Design Workshop 2026 Tiny Architecture by Digital Design (Ecole nationalesupérieure d'architecture de Grenoble / Université Grenoble Alpes (グルノーブル・アルプ大学/グルノーブル国立建築大	フランス (グルノーブル)	英語	パブリシオンと散策路のデザインを課題とし、デジタル・デザインからデジタル・ファブリケーションまでの一貫した、デジタル技術を基礎とする建築およびデザインの新しい制作方法を実践し修得する。制作物はイゼール河畔あるいは博物館へ設置され実用される。共同WSを実施するCIC協定校グルノーブル・アルプ大学はパラルミック・デザインとデジタル・ファブリケーションにおいてグローバルに見て有数の実績を有する。建築を中心にデザインの幅広い分野から学生を受入れる。本授業で先端的知見を得ることで学生のデザイン能力の飛躍的向上が期待される。	2026年9月7日～9月19日 (13日)。筑波大学生は7月9日から研修を実施する。	芸術専門学群建築デザイン領域学生等、デザイン学学位プログラム学生等	12名程度	4月末～5月初旬	4月末～5月初旬	3単位	0ATU202 プロジェクト演習A-II YBQ0352 建築デザイン演習B	有 (申請中又は申請予定)	支援金額を越えた費用 (はばたけDOJO支援、JASSO奨学金)	はばたけDOJOあるいはJASSOソーシャルインパクト (いずれも11万円見込)	毎年開催	芸術系事務室 デザイン学学位プログラム (art_design_adm@un.tsukuba.ac.jp)	募集人数を超過した場合選抜をおこなうことがあります。
29	海外実習	東アジア若手研究者合同研究フォーラム	マレーシア	日本語、英語等	韓国高麗大学、台湾政治大学、中国北京外国語大学の日本研究者、大学院生が集い、研究発表および日本研究の可能性を議論する。	2027年11月頃 (4日間)	大学院生 (人文社会学系研究群)	5名程度	11月	11月	1単位	リサーチ・プログラム開発基礎2 (0ABE101)	有	約10万円 (航空券代、宿泊費等含む)	はばたけ筑大生! (計10万円)	毎年開催	国際日本研究事務室 (office@japan.tsukuba.ac.jp)	教員に対しては、令和7年度多文化共修活動支援を得た。開催地は、つくば、ソウル、台北、北京での持ち回り。来年度はソウルで開催。
30	海外実習	マレーシア実習	マレーシア (ジョホールバル)	英語・日本語	マレーシア工科大学や現地校にて、日本語教育実習を実施する	2027年1月	主に日本語・日本文化学類の学生	4名	7月	8月	3単位	日本語教育国際研修 (AE14C23)	無	約10万円	国際交流基金「日本語・パートナーズ派遣プログラム」の共催分担金 (約20万円) ※現在申請中	毎年開催	日本語・日本文化学類長室 nichi2_office@un.tsukuba.ac.jp	https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/training_overseas/

31	海外実習	医学類M6海外臨床実習	希望派遣国の医療機関	英語その他派遣国の言語	海外での医療機関での臨床実習	2026年6月(4週間)	医学類6年生	10名程度(選考による)	募集説明会:4年次の3月	5年次の3月頃	11単位	M6アドヴァンスト・エレクティブス(HB36183)	無	渡航先による	附属病院または桐医会から(10万円/1名※但し全員には支給されないこともあり)	毎年開催	医学類 PCME室 (curmang@md.tsukuba.ac.jp)	https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/kyoiku-culc/kyoiku-culc004/jiyusentakujisshu	
32	その他	ケニアの陸上競技の現場から学ぶスポーツと開発の課題	ケニア	英語	本プログラムは、学部生を対象に、ケニアにおける陸上競技を事例として、スポーツと開発をめぐる社会課題を現場から学ぶ多文化共修型フィールド実習である。本実習では、陸上競技のトレーニング現場、学校、地域コミュニティ、スポーツ関連団体などを訪問し、国際競技を目指すためのトレーニングの実態を現場から学ぶとともに、スポーツ競技が若者や地域社会にどのような機会をもたらしているのか、また同時にどのような課題や葛藤を内包しているのかを、現地の人々との対話や観察を通じて理解する。	2027年1月25日～2月7日	全学群、学類学生、全学位プログラムの学生	10名	R9.1.14	未定	-	8331183 多文化共修による課題解決実習(海外)B	有	はばたけ！筑大生の奨学金を申請する予定だが、受給できない学生はJASSOにも申請する予定である。	はばたけ！筑大生奨学金 JASSO奨学金(未定)	毎年開催	体育芸術エリア支援室 多文化共修プログラム担当 tg.mcd@un.tsukuba.ac.jp		
33	その他	コートジボワールに学ぶ「保健・体育・スポーツを通じた社会課題解決」	コートジボワール アビジャン	英語、フランス語	西アフリカのコートジボワールを具体例としてサブサハラ・アフリカ諸国が抱える様々な社会課題について、「保健・体育・スポーツ」を切り口としてその解決方法について考えることを通じて、未来志向の提案ができるグローバルスタートアップ人材の育成を目指す。	2027年2月26日～3月17日	全学群、学類学生、全学位プログラムの学生	12名	1月中旬～2月	10月	-	8331183 多文化共修による課題解決実習(海外)B	有	はばたけ！奨学金を最大限活用するが、渡航費を全て賄うことは不可能であるため、学生の自己負担が発生するのが現実である。はばたけ！を受給できない学生はJASSOにも申請する。	はばたけ！筑大生奨学金 JASSO奨学金(未定)	毎年開催	体育芸術エリア支援室 多文化共修プログラム担当 tg.mcd@un.tsukuba.ac.jp		
34	その他	イリノイ大学	アーバナシャンペーン	英語	イリノイ大学にて共同研究の実施	2026年11月(1か月) 予定	生物学学位プログラム	3名	無	10/29-12/2	なし	なし	無	滞在費	なし	不定期で実施	生物学学位プログラム教務 seibutsu-senkou-jimu@un.tsukuba.ac.jp		
35	その他	国際日本学位プログラム/専攻 学生研究出張支援	不問	英語等	海外での学会等において研究発表を行う際の出張旅費を支援する。	通年	国際日本研究学位プログラム 正規生	予算上限で打ち切り	6月、10月	6～7月、10～11月	なし	なし	無	支援金額以外(航空券代、宿泊費等含む)	上限10万円	毎年開催	国際日本研究事務局 (office@japan.tsukuba.ac.jp)	メールにて学生へ募集告知	
36	その他	「ナノ・量子・情報・生命分野融合の国際連携教育プログラム」(EU世界展開力強化事業)	フランス(クルノーブル、ボルドー)、ドイツ(ボフム、ボン)、ベルギー(ルーヴェン)、オランダ(コトヤト)	英語	【EUXP】海外履修コースへ参加する。本事業と連携しているパートナー校へ交換留学または研究(インターンシップ)として留学する。	調整中(1～12か月)	理工情報生命科学術生(博士前期)	制限なし	4月/11月	調整中	調整中	調整中	無	約30万円～(航空券代、生活費、その他)渡航期間による。	JASSO(月11万)渡航費	不定期で実施	EU世界展開力事務局 eu-interuniv@un.tsukuba.ac.jp	https://eu-interuniv.pas.tsukuba.ac.jp/	
37	その他	第10回 感染症ワークショップ Workshop on Infection Diagnosis	ベトナム(ダナン市)	英語	ベトナムで実施する「Infection Diagnosis Workshop」において、現地社会人や大学生参加者と共に実際の臨床検体や環境サンプルから各種病原体の同定、多剤耐性菌(ESBL等)の型別判定等を行い、また薬剤耐性というグローバル課題を生む現地特殊事情を学び解決策を議論する。本ワークショップは、全学自由科目「国際パートナーシップ研修(東南アジア)」として実施している。	2026年9月上旬	医療科学類 医学学位プログラム	8名	8月上旬	5月	2単位	国際パートナーシップ研修(東南アジア)	有(申請中又は申請予定)	実質負担5万円程度の予定	はばたけ筑大生!	毎年開催	医学医療系 森川一也・教授・7882 morikawak@icloud.com	https://www.md.tsukuba.ac.jp/med-sciences/data/tjms/2025/Vol.21(5)-December.pdf	
38	その他	人間総合科学術院・研究科海外学会発表旅費支援制度	海外	学会等における発表言語	人間総合科学術院・研究科での研究成果を演者として海外学会で発表する大学院生に対して、学会等への参加費と旅費の一部を支援する。(参加費とは、参加費、参加登録費などで、論文集代や昼食代等は含まない。旅費は、交通費、宿泊費(実費)とし、上限額は筑波大学出張及び旅費に関する規則に準ずる。	2026年4月～2027年3月15日	人間総合科学術院・研究科に在籍する大学院生(正規生)	約50名	なし	6月	なし	なし	無	支援金額を超えた費用	上限額10万円	その他(備考に記載)	人間総合科学術院・研究科運営 (kenkyuuka-unei@un.tsukuba.ac.jp)	https://www.chs.tsukuba.ac.jp/	・人間総合科学術院・研究科のウェブサイト、学位プログラム・専攻からの周知メールをご確認ください。 ・年度の予算によって実施の有無を決定する。
39	その他	大学院生を対象とした人間総合科学術院・研究科武者修行型学修派遣支援	海外	派遣渡航目的の達成に必要な言語	大学院生自身の学位論文に関する研究活動(海外の研究者からの研究手法の修得や研究情報の収集、史料・資料収集、調査実施等)を行うために、大学院生自身が派遣先と交渉して計画した派遣を対象とする。但し、国際学会、シンポジウム、セミナー、研究会及び研修等への派遣は対象としない。また、留学生については、武者修行型学修の趣旨から母国への派遣は認めないものとする。	2026年7月～2027年3月15日 ※派遣先と個別に調整。	人間総合科学術院・研究科に在籍する大学院生(正規生)	17名程度	なし	6月	なし	なし	無	支援金額に該当する項目以外の費用	国内移動交通費、日本から海外派遣先の最寄り空港までの往復航空運賃(最下級の低廉なもの)、および日当・宿泊費を含め30万円を上限として支援する。	毎年開催	人間総合科学術院・研究科運営 (kenkyuuka-unei@un.tsukuba.ac.jp)	https://www.chs.tsukuba.ac.jp/	人間総合科学術院・研究科のウェブサイト、学位プログラム・専攻からの周知メールをご確認ください。
40	その他	人間総合科学術院・研究科「社会人大学院生に対する支援事業」	国内・海外	学会等における発表言語	人間総合科学術院・研究科での研究成果を演者として学会、研究会、研修会で発表する社会人大学院生に対して、学会等への参加費と旅費の一部を支援する。(参加費とは、参加費、参加登録費などで、論文集代や昼食代等は含まない。旅費は、交通費、宿泊費(実費)とし、上限額は筑波大学出張及び旅費に関する規則に準ずる。	2026年4月～2027年3月15日	人間総合科学術院・研究科に在籍する社会人大学院生(正規生)	約50名	なし	6月	なし	なし	無	支援金額を超えた費用	上限額10万円	毎年開催	人間総合科学術院・研究科運営 (kenkyuuka-unei@un.tsukuba.ac.jp)	https://www.chs.tsukuba.ac.jp/	人間総合科学術院・研究科のウェブサイト、学位プログラム・専攻からの周知メールをご確認ください。
41	その他	学会発表支援	国内・海外	学会における発表言語	知識情報・図書館学類に所属する学群生が学会発表を行う出張のための旅費及び学会参加費(論文投稿料を含む)を支援する。	通年	知識情報・図書館学類生(3・4年生)	予算上限で打ち切り	なし	4月～翌1月(出発の2週間前まで)	なし	なし	無	出張先による(上限を超える旅費、食費、その他)	年間1名5万円、海外渡航の場合は10万円まで支援	毎年開催	図書館情報エリア支援室学群教務 (gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp)	https://klis.tsukuba.ac.jp/education/affairs.html	なし
42	その他	情報学学位プログラム/図書館情報メディア研究科学会発表支援	国内・海外	学会における発表言語(主に英語)	情報学学位プログラム/図書館情報メディア研究科に所属する大学院生が学術的な会議で研究成果を発表する際の費用を支援する。	通年	情報学学位プログラム/図書館情報メディア研究科所属学生	予算上限で打ち切り	なし	4月～12月頃	なし	なし	無	場合による	4万円～15万円(目的による、今後変更の可能性あり)	毎年開催	図書館情報エリア支援室 学生支援 (tosyossgakusei@un.tsukuba.ac.jp)	https://informatics.tsukuba.ac.jp/programs-courses/works-category/travel-grant/	なし